

連携だより

平成27年

7

月号

平成27年7月1日発行

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <http://www.kure-nh.go.jp/>
E-mail renkei@kure-nh.go.jp

消化器合同オープンカンファレンス



日時 平成27年 **7月8日 (水)** 19:00~

場所 呉医療センター・研修センター1.2

演題 「肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、
画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討」

地域医療研修センター 定期講演会



日時 平成27年 **7月15日 (水)** 19:00~

場所 呉医療センター・研修センター1.2

演題および講師 「軟部腫瘍診断の基本
—軟部腫瘍診断ガイドラインより」



呉医療センター 統括診療部長
下瀬 省二



内科オープンカンファレンス



日時 平成27年 **7月30日 (木)**

場所 呉医療センター・研修センター1. 2

医長講義 呼吸器内科科長
内科系診療部長

中野 喜久雄

症例1：神経内科医師 神原 智美

症例2：循環器内科医師 岡 俊治

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者様のご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8：30～17：15 0823-22-3111

土・日および夜間 17：15～8：30 0823-23-1020

心臓センターの紹介



心臓血管外科 科長
流郷 昌裕

呉地域の開業医の皆様、日頃より大変お世話になっております。呉医療センター心臓血管外科の流郷（りゅうごう）です。

昨今、医療の各分野で「チーム医療」の重要性が指摘されておりますが、循環器領域では特に重要といえます。かつて、循環器領域で心臓カテーテル治療が世に広まりだした頃は、心臓弁膜症や冠動脈疾患に対して、循環器内科と心臓血管外科の双方が患者の取り合いをし、施設によっては両科の関係が険悪となり、結果的に患者さんへ不利益を与えてしまったような部分がありました。しかし最近では、両科がお互いの利点、欠点を理解し、患者さんへの恩恵を最大限に引き出すことが重要視され、特に最新の治療の1つである「経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVR）」においては、実施施設基準の中にも上記事項が明文化されております。

幸い当院では、川本俊治先生（現：かわもと心臓内科クリニック院長）、泉谷裕則先生（現：愛媛大学心臓血管・呼吸器外科教授）の両先生のご尽力により、広島県下でも非常に早い段階で「心臓センター」を立ち上げ、両科間の強い連携を維持しております。当院では、循環器の入院患者さんは、重症患者以外は5B病棟という同じフロアで管理され、また当直も「心臓センター」として他分野から独立しており、24時間、365日体制で循環器系の緊急対応を行っております。また週一回、循環器カンファレンスを施行し、循環器の入院患者さんの情報を両科で共有できるシステムとなっております（写真参照）。さらに今年度より、循環器内科に、杉野浩医師（平成4年卒）、岡俊治医師（平成14年卒）の2名が心臓センターの新メンバーに加わりました。経験豊富な両先生の加入により、さらに充実した循環器診療を行える環境が整いました。

また、当心臓センターでは、夏には海水浴場でのレクリエーション、冬は忘年会があり、普段の仕事以外の場での交流も深めております（もちろん、こうした行事の際にも急患対応は致します）。

開業医の皆様、循環器系でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、遠慮なくご紹介ください。宜しくお願いします。



PETのお知らせ



放射線診断科 科長
豊田 尚之

今回からPET検査をご依頼頂く際の注意点について、毎号お話しさせていただきます。

まず第1回目は、適応患者さんについての皆様へのお願いです。

当院は基本的に検診行為を行わない施設となっています

これをふまえて以下の点にご注意ください。

以下のような場合が**当院PETの適応あり**、となります。

- ・悪性腫瘍のステージング（当院のPETはこれが主目的です）。
- ・悪性腫瘍がほぼ確定している場合。
- ・なお病理検査が未定でも、他の検査でほぼ確定出来ている場合。
- ・悪性腫瘍の既往のある方で、CTやMRIなどで再発が強く疑われている場合。
- ・CTで腫瘍を指摘されたが、良悪の判別が困難な場合。



一方、以下のような場合は**適応外**となります。

- ・悪性腫瘍があるかないかという検診目的。
- ・検診や人間ドックで腫瘍マーカーが高値のための悪性腫瘍の検索。
- ・悪性腫瘍の既往のある方で、腫瘍マーカーの**軽微な上昇**。
（極端な上昇の場合には適応となる場合がありますが、この時も画像検査の第一選択はCTとなります）
- ・別な言い方をすると、悪性腫瘍の疑い病名は基本的に保険適応外となります。

- ・ここで言う悪性腫瘍とは、早期胃癌以外のすべての悪性腫瘍がPETの保険適応です（なおPET前に悪性腫瘍の存在がほぼ確定していることが条件となります）。
- ・上記の点につきましては実際にご依頼頂く際に、こちらから確認をさせて頂く場合もあるかと思しますのでご留意を頂きたいと思ます。

注意!

腫瘍マーカー高値、悪性腫瘍検索目的による検査、自由診療、検診目的の検査は行いませんのでご了承下さい。

がんサロンのご案内

日時：7月10日（金）	内容：「食事と栄養」
14：00～15：00	講師：栄養管理室長
場所：第3研修室	白野 容子

乳がんサロン

日時：7月14日（火）	内容：「乳がんの分子標的薬」
14：00～15：00	講師：腫瘍内科医長
場所：第3研修室	平田 泰三

7月の時間外 研修会／勉強会



【連絡先】
 知立行政法人国江病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 医務系（教育企画室）
 広島県東広島市山田町3番1号/EI:0829-22-3111/ホウキ-テ：http://www.kure-eh.go.jp/



研修会名	日時	場所	講師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
【第10回呼吸ケアオーブンセミナー】 「人工呼吸器装着患者の栄養管理」 「人工呼吸器装着患者の口腔ケアの基礎」 「呼吸リハビリの基礎」 「当院で起こったインシデント」	7月7日 (火) 18:00~19:20	地域研修センター1・2	呉医療センター 栄養管理士 宮武 志帆 歯科衛生士 加登山 千恵 理学療法士 高濱 みほ 新生児集中ケア認定看護師 栗原 広子	呼吸ケアチーム	院内 向け	研修医・看護師 理学療法士・臨床工学技士
消化器合同カンファレンス 肝・胆・膵及び上下部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討。	7月8日 (水) 19:00~	地域研修センター1・2	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器内科	○	全職種
院内内視鏡セミナー 「内視鏡の看護・介助」	7月10日 (金) 18:00~19:00	地域研修センター1・2	呉医療センター 内視鏡室看護師 上西 成美	消化器内科・管理課	院内 向け	初期研修医 看護師 コメディカル
【第10回呼吸ケアオーブンセミナー】 演習：「人工呼吸器装着体験・吸引体験・呼吸リハビリ体験」	7月11日 (土) 9:00~12:00	呉医療技術研修センター	呉医療センター 呼吸ケアチームスタッフ他	呼吸ケアチーム	院内 向け	研修医・看護師 理学療法士・臨床工学技士 ※事前申込要（生体測定員20名） お問合先：企画課医務系 関根
コメディカルのお薬勉強会	7月13日 (月) 18:00~19:00	11F大会議室	呉医療センター 薬剤科 薬剤師	薬剤科	院内 向け	看護師 助産師 コメディカル
地域医療研修センター定期講演会 「軟部腫瘍診断の基本-軟部腫瘍診療ガイドラインより」	7月15日 (水) 19:00~20:00	地域研修センター1・2	呉医療センター 統括診療部長 下瀬 省二	地域連携室・管理課	○	全職種
ME機器安全使用に関する研修 「血液浄化」	7月16日 (木) 17:30~18:30	11F大会議室	東レメディカル 佐藤 敦氏	ME管理室	院内 向け	全職種
第3回 TCSA勉強会 「ICTにおける薬剤師、検査技師の役割」 「NSTIにおける薬剤師、検査技師の役割」	7月27日 (月) 18:00~19:30	地域研修センター1・2	呉医療センター ICT NST	栄養管理室	○	全職種
BLS（一次心肺蘇生法） 「CPR（心肺蘇生）」 「AED（自動体外式除細動器）」	7月27日 (月) 18:00~19:30	呉医療技術研修センター	副院長/中央手術部長 森脇 克行	医療技術センター	○	全職種 ※事前申込要 問合先：技術研修センター 高浜
ME機器安全使用に関する研修 「人工心臓」	7月28日 (火) 17:30~18:30	11F大会議室	呉医療センター ME管理室 主任技士 半田 宏樹	ME管理室	院内 向け	全職種
内科オープンカンファレンス	7月30日 (木) 19:00~20:00	地域研修センター1・2	呉医療センター 医長講義 呼吸器内科科長 中野 晋久雄 神経内科医師 神原 智美 症例1. 循環器内科医師 西 俊治 症例2.	内科	○	医師（初期研修医含む）



自己研鑽で専門性を高めましょう！